

平成 26 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 むかわ町社会福祉協議会

会議等の開催状況報告

1. 評議員会開催状況

(1) 第1回定例評議員会	平成26年 5月29日	19名出席
・ 報 告～平成26年度共同募金助成額決定報告について等		2件
・ 議 案～平成25年度事業報告、平成25年度各会計決算報告について		2件

(2) 第2回定例評議員会	平成27年 3月27日	22名出席
・ 報 告～人事関係報告について等		2件
・ 議 案～平成26年度各会計補正予算、平成27年度事業計画について等		3件

2. 理事会開催状況

(1) 第1回臨時理事会	平成26年 4月14日	14名出席
・ 報 告～理事・監事の選任について		1件
・ 議 案～正副会長の選任、職務代理者の順位指名について		2件

(2) 第1回定例理事会	平成26年 5月21日	13名出席
・ 報 告～各委員会委員の選任報告について等		5件
・ 議 案～平成25年度事業報告について等		3件

(3) 第2回定例理事会	平成26年 7月29日	13名出席
・ 報 告～平成25年度資産登記完了報告について等		4件

(4) 第3回定例理事会	平成26年 9月30日	12名出席
・ 報 告～第22回ふれあい広場開催報告について等		5件

(5) 第4回定例理事会	平成26年12月 5日	13名出席
・ 報 告～第4期地域福祉実践計画について等		7件
・ 議 案～平成27年度事業計画について等		4件

(6) 第5回定例理事会	平成27年 2月 6日	14名出席
・ 報 告～平成27年度予算要望状況について等		4件
・ 議 案～社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会経理規程の全部改正について		1件

(7) 第6回定例理事会	平成27年 3月20日	13名出席
・ 報 告～部会・委員会の開催報告について等		5件
・ 議 案～平成26年度各会計補正予算について等		5件

3. 監事の監査及び報告状況

- (1) 第1回監査（平成25年度 決算監査）
 ・ 実施～平成26年 5月 9日 2名出席
 ・ 報告～平成26年 5月21日 第1回定例理事会
- (2) 第2回監査（平成26年度 第1／四半期監査・助成団体監査）
 ・ 実施～平成26年 8月 6日 2名出席
 ・ 報告～平成26年 9月30日 第3回定例理事会
- (3) 第3回監査（平成26年度 第2／四半期監査）
 ・ 実施～平成26年11月 6日 2名出席
 ・ 報告～平成26年12月 5日 第4回定例理事会
- (4) 第4回監査（平成26年度 第3／四半期監査）
 ・ 実施～平成26年 2月17日 2名出席
 ・ 報告～平成27年 3月20日 第6回定例理事会
4. 部会及び委員会開催状況
- (1) 総務部会 平成26年 6月24日 6名／平成26年11月12日 7名
 平成27年 3月 9日 7名 延べ20名出席
 ・ 報告～第4期地域福祉実践計画の状況報告について等 延べ 6件
 ・ 議案～平成27年度事業計画、平成27年度收支予算について等 延べ 7件
- (2) 福祉事業部会 平成26年 6月25日 11名／平成26年11月12日 10名
 平成27年 2月20日 11名 延べ32名出席
 ・ 報告～第4期地域福祉実践計画について等 延べ 3件
 ・ 議案～第4期地域福祉実践計画実績及び評価について等 延べ 5件
- (3) 広報編集委員会 平成26年 6月27日 4名／平成27年2月20日 6名 延べ10名出席
 ・ 報告～平成26年度広報発行計画の報告について等 延べ 3件
 ・ 議案～平成27年度広報誌の発行計画について等 延べ 3件
- (4) たすけあい金庫貸付運営委員会 平成26年 6月26日 6名
 平成27年 2月27日 7名 延べ13名出席
 ・ 報告～平成26年度たすけあい金庫貸付・償還状況について等 延べ 6件
 ・ 議案～委員長並びに副委員長の選任について 1件
- (5) 生活福祉資金貸付調査委員会 平成26年 6月26日 6名
 平成27年 2月27日 7名 延べ13名出席
 ・ 報告～平成26年度生活福祉資金貸付・償還状況について等 延べ 6件
 ・ 議案～委員長並びに副委員長の選任について 1件
- (6) ボランティアセンター運営委員会 平成26年 6月23日 5名
 平成26年12月12日 3名 延べ 8名出席
 ・ 報告～平成26年度ボランティアセンター事業について等 延べ 6件
 ・ 議案～平成27年度ボランティア事業について等 延べ 2件

計 画	実 績
I 法人運営事業	
1. 本所・支所の組織・機構の充実	
(1) 「社協組織・機構図及び職員定員適正化計画書」により、①組織・機構、②本所・支所の職員適正化の定着化に努める。	組織・機構計画に基づき、適正人員の協議を行い嘱託職員、臨時職員による業務の効率化等を図った。
(2) 「社協職員給与適正化計画書」により、社協職員給与是正措置の早期実現に努める。	人件費の公費負担措置を行い、給与格差是正要望の協議を行った。
(3) 職員の質の向上への取り組みとして、社会福祉士等の資格取得を促進するとともに職員能力向上研修会等への積極的参加を促す。	専門性の確保のための道社協主催の講習会に参加。社会福祉士等資格取得のための奨励を図り、職員の協力があった。
(4) 職員倫理規定を遵守し職員会議等でコンプライアンスの理解を深める。	職員倫理規定の遵守を職員会議等で理解を深めた。
(5) 社協内部の職員会議を開催（年4回）、業務別会議（ミーティング）の開催。	職員会議を4回開催し、業務別会議（ミーティング）は適宜実施した。
(6) 多様な住民の福祉ニーズに対応するため、地域の実態やニーズを的確に把握する体制として、「生活支援専門員」、「生活支援員」を配置する。	配置
(7) 地域福祉を一層推進するため、「社会福祉活動専門員」を配置する。	配置
(8) はつらつ人材センターと事業提携する。 ①移送や軽作業など、福祉サービス事業の担い手として業務を委託する。 ②高齢者の能力を社協業務に生かすための協力体制を図る。	穂別地区の独居老人等窓ビニール張り事業等を委託。
2. 法人財政基盤の強化	継続
(1) 贊助会員、特別会員の入会啓蒙活動を実施し独自財源の確保に努める。	区分 26年度 25年度 比較 一般会費 2,412,200 2,404,500 △7,700 特別会費 523,000 550,000 △27,000 賛助会費 294,000 304,000 △10,000 合計 3,229,200 3,258,500 △29,300
(2) 法人の財政基盤を強化するため、独自財源の確保に努める。 ① 社協広報誌「ふくしだより」への企業等の有料広告掲載に係る啓蒙活動強化 ② 行政等事業受託、収益事業の可能性模索 ③ 公費の適正な財源確保を図る必要性について、むかわ町の理解と協力を積極的に働きかける。 ④ 共同募金（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）は社会福祉協議会の貴重な自主財源となることから、共同募金委員会と連携を図り、運動の啓蒙と募金の協力をを行う。	企業等への要請を実施し、掲載実績企業1社。有料広告掲載の募集ふくしだよりに1回掲載継続調査 担当課と事前打ち合わせを行い、事業説明及び予算について理解と協力を得た。 役員・職員も含め企業訪問及び街頭募金等積極的に啓蒙と募金協力を行った。

計 画	実 績
<p>3. 社協事務所・福祉活動拠点施設として有効利用</p> <p>社協穂別支所は、むかわ町の理解のもと穂別総合支所内1階に十分なスペースと明るい環境のもと、社協専用スペースとして高齢者や障がいのある方、その介護者、ボランティア、協力員等誰もが気軽に立ち寄れる場所として有効に活用する。相談業務で、来所される方のプライバシー確保を図る環境整備に努める。また、住民の福祉活動拠点となる施設機能を持った「町民センター」をサロン事業等で有効に利用する。</p>	<p>穂別支所は、常に整理整頓し、備品等の設置も考慮しながら来所者が気軽に立ち寄れる場所とした。相談支援等で来所された場合は空き状況により町長室など個室にて対処した。いきいきふれあいサロン事業等で「町民センター」の会議室及びコミュニティールームを有効に利用した。</p>
<p>4. 苦情解決システムと事業評価システムの定着化</p> <p>福祉サービス利用者支援と福祉事業充実のため、苦情解決システムと事業評価システムの定着化に努める。</p>	<p>苦情解決システムは、苦情受付及び報告等の取扱実績なし。</p> <p>事業評価システムは、福祉事業部会に提案し、意見反映に努めた。</p>
<p>5. 地域福祉力を高める協働化の構築</p> <p>社協の固有の役割と機能への理解と運営への支援を得るため、行政との協働の確立、医療・福祉・学校・その他の関係機関・団体・住民との「参画と協働」のネットワークづくりに努める。</p>	<p>行政との協働の確立、医療・福祉・学校・その他の関係機関・団体・住民との「参画と協働」のネットワークづくりに努めた。</p>
<p>6. 第4期地域福祉実践計画の適正運用及び見直し</p> <p>第4期地域福祉実践計画の進捗状況の評価等を行い、適正な運用を図ります。社会・経済情勢の変化や社会福祉の動向などに対応するため、必要に応じて計画内容の見直しを総務部会及び福祉部会で行う。</p>	<p>参加者からのアンケート調査などから成果及び課題を整理し、福祉事業部会で現状把握とともに協議・評価見直しを行い総務部会に報告した。</p>
<h2>II. 広報・啓発事業</h2> <p>1. ふくしだよりの発行、各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ふくしだより（ボランティア情報誌を含む）を、年間6回発行、全戸配付する。 (2) 社協概要を発行し、福祉関係機関などに配布する。 (3) 地域活動を推進するため、各種情報を掲示板等で提供する。 (4) むかわ町社会福祉協議会のホームページをリニューアルし、ボランティア活動や福祉活動、各種事業等の情報の充実に努め、地域福祉に対する理解と認識を高める。 (5) 報道機関への積極的な報道依頼を展開する。 	<p>年6回(№.4 9～5 3)発行し、全戸に配付した。 発行日 H26. 6. 1 / H26. 8. 1 / H26. 10. 1 H26. 12. 1 / H27. 2. 1 / H27. 4. 1 平成26年6月に発行し配付した。 各種情報を適宜掲示板等で提供した。</p> <p>ホームページをリニューアルし、内容等も更新しながら地域福祉に関する社協事業の啓蒙、啓発を図った。</p> <p>社協事業の事前周知・事業実施の報道を積極的に依頼した。</p>

計 画	実 績												
<p>III. 地域福祉活動事業</p> <p>1. 地域ネットワーク事業の推進</p> <p>ふれあい広場の充実</p> <p>地域住民が誰でも気軽に参加し、お年寄りや心身にハンディキャップのある方、児童や生徒が一緒になって「ふれあい」の場をとおして、福祉活動に対する住民の理解をより深めるとともに、参加された方々が支え合い、人に優しい心の「わ」の広がりと、今後の地域福祉活動の推進を図るため「テーマ」を掲げ広場事業内容の充実を含め実行委員会を組織して開催する。</p> <p>2. 自治会活動推進事業</p> <p>(1) 地域福祉活動推進奨励事業</p> <p>高齢化が急ピッチで進行し、ひとり暮らし高齢者の孤独死や介護疲れによる悲しい事件が起きるなど、さまざまな社会問題が発生している。「誰もが健康で安心して生活できる地域社会」にするには、地域(町内会・自治会)での高齢者や障がい者などを、地域が連帯して支えあう取り組みが急がれております。そこで、これらの活動を町内会・自治会に奨励し、地域ぐるみで福祉活動を推進するために、①見守り活動②日常生活支援事業③社会参加活動事業を実践した地区に活動費の一部を助成する。</p> <p>■実践活動</p> <p>1. 見守り活動</p> <p>対象：日常の生活や健康状態、非常時の対応が心配なひとり暮らしの高齢者等</p> <p>事例：声かけや定期的な訪問による話し相手などをしながら、安否の確認や健康上の変化を見守ることによって、事故を未然に防いだり、異常を発見します。</p>	<p>平成 26 年 8 月 30 日(土)に約 700 人の参加のもと開催し、ふれあい広場実行委員会が主体となり、テーマ「思いやりと支え合いで築こうむかわの『輪』」とし、福祉を身近に感じられるように工夫をした。町内の園児による絵の展示や、小学生が教えるバルーンアートの体験ブースなど小中校生から障がい者のパフォーマンスに加え、多くのボランティアが運営を支え、子供から大人まで幅広い楽しい交流の場となった。</p> <p>平成 26 年 4 月 21 日むかわ町自治会町内会連合会の総会、平成 26 年 6 月 30 日穂別地区自治会長会議に出席し、むかわ町社協発行の手引きを元に地域福祉活動の推進及び奨励事業の内容説明を行った。</p> <table> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>26 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>25 件 175,000</td> <td>24 件 170,000</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>9 件 55,000</td> <td>8 件 45,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34 件 230,000</td> <td>32 件 215,000</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	26 年度	25 年度	鶴川地区	25 件 175,000	24 件 170,000	穂別地区	9 件 55,000	8 件 45,000	合計	34 件 230,000	32 件 215,000
区 分	26 年度	25 年度											
鶴川地区	25 件 175,000	24 件 170,000											
穂別地区	9 件 55,000	8 件 45,000											
合計	34 件 230,000	32 件 215,000											

計 画	実 績												
<p>【訪問しなくても、例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、電気が点灯しているか。 ・カーテンが開閉されているか。 ・新聞郵便物がたまっていないか。 ・回覧板が回っているか。 ・雪が積もったままか。 <p>などを見回りするだけでも効果があります。</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 1万円 (2)上記以外の自治会 5千円</p>													
<p>2. 日常生活支援活動</p> <p>対象：身体が不自由になって、炊事、洗濯、掃除などの家事や外出が困難となっている世帯、家族での介護や看病が困難な高齢者等</p> <p>事例：(1)家事援助～除雪・除草・買物・ゴミ出し・掃除・洗濯・アイロンかけ・布団干し・代筆・食事つくりなど (2)身辺介助～洗髪・ヒゲ剃り・爪きり・着替え・化粧など (3)外出介助～買物随行・散歩随行・知人宅訪問・通院付添など (4)介護支援～介護の手伝い・介護者の代行など (5)その他～簡単な用事足し・給配食・留守番・諸手続きの代理・薬の受取・話し相手・悩みごと相談など</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 2万 (2)上記以外の自治会 1万円 (3)要支援者 1人につき 500円加算 ※介護保険認定者は除く。</p>	<table> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>26 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>10 件 158,000</td> <td>11 件 160,000</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>7 件 90,500</td> <td>7 件 89,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17 件 248,500</td> <td>18 件 249,000</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	26 年度	25 年度	鶴川地区	10 件 158,000	11 件 160,000	穂別地区	7 件 90,500	7 件 89,000	合計	17 件 248,500	18 件 249,000
区 分	26 年度	25 年度											
鶴川地区	10 件 158,000	11 件 160,000											
穂別地区	7 件 90,500	7 件 89,000											
合計	17 件 248,500	18 件 249,000											
<p>3. 社会参加活動助成</p> <p>対象：住民</p> <p>事例：家に閉じこもっていると寝たきりへの道へ猛スピードで疾走することになります。高齢期を元気で生き生き暮らすには、「健康づくり」、「仲間づくり」、「生きがいづくり」が大切です。地域住民のふれあいのなかで、コミュニティ活動を再生します。</p>	<table> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>26 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>56 件 602,400</td> <td>63 件 568,400</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>11 件 101,400</td> <td>10 件 83,200</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>67 件 703,800</td> <td>73 件 651,600</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	26 年度	25 年度	鶴川地区	56 件 602,400	63 件 568,400	穂別地区	11 件 101,400	10 件 83,200	合計	67 件 703,800	73 件 651,600
区 分	26 年度	25 年度											
鶴川地区	56 件 602,400	63 件 568,400											
穂別地区	11 件 101,400	10 件 83,200											
合計	67 件 703,800	73 件 651,600											

計 画	実 績
(1)介護予防事業（元気高齢者づくり） 生きがい活動、花いっぱい運動、スポーツレク大会、サロン活動・健康教育、料理教室、昼食会、昔の遊び・輪投げ・パッчиなど	区 分 26年度 25年度 鶴川地区 21件 158,600 19件 128,400 穂別地区 0件 ----- 1件 4,000 合計 21件 158,600 20件 132,400
(2)世代間交流事業 高齢者と子供・婦人の集い、高齢者の能力を引き出す事業、体験学習など	区 分 26年度 25年度 鶴川地区 14件 121,200 16件 132,600 穂別地区 4件 26,600 3件 16,400 合計 18件 147,800 19件 149,000
(3)自治会(町内会)行事への連れ出し 運動会、パークゴルフ大会、各種レク大会、生きがい健康まつり、花見会・リサイクル活動・研修会・温泉旅行など 助成：参加者1人につき200円、2万円を限度とする。 ※他から助成される事業は、対象外とする。 ※1自治会2事業を限度とする。	区 分 26年度 25年度 鶴川地区 29件 322,600 28件 307,400 穂別地区 7件 74,800 6件 62,800 合計 36件 397,400 34件 370,400
(2)福祉委員活動の推進 町内各地域において福祉に関する問題や要望を発見し、助け合い活動を展開して地域の人たちと共に福祉のまちづくりを進める「地域福祉活動家」である福祉委員を配置するとともに、福祉の啓発活動、ふれあい交流活動、助け合い活動、社協事業等の協力など具体的に推進するために、情報交換のための会議や新任者のための研修を実施する。	福祉委員86名の委嘱 期間 平成29年3月31日まで（3年） 研修会の開催 平成27年 2月9日（月） ・四季の館研修室 ・参加者 約30名 ・実践発表「美幸第1町内会社会民生部」 ・講演 道社協胆振地区事務所 所長 戸嶋 信司 氏「福祉委員の役割」
3. 福祉活動車輌及び福祉機器・備品の貸付事業 (1) リフト付ワゴン車を整備し、地域福祉活動を実践する地域・団体に、福祉活動車輌として貸付ける。 (2) 車椅子や介護用ベットなど福祉機器を無償で貸付ける。 (3) 行事用テント、布団乾燥機やポットなどの備品を無償で貸与する。	問い合わせ3件 実績なし。 区 分 26年度 25年度 車椅子 27件 51件 歩行器 4件 1件 簡易トイレ 1件 2件 行事用テント 18件(74張) 14件(57張)
4. 生活改善合理化普及奨励事業及び葬祭協力 (1) 生活改善合理化による虚礼廃止を奨励し、慶弔用ハガキを作成し提供する。 (2) 会員加入自治会・町内会が主体で行われる葬祭に協力する。	葬儀・見舞い返し用葉書を印刷し提供した。 26年度 36件 11,900枚 25年度 31件 10,600枚 区 分 26年度 25年度 比較 鶴川地区 4件 6件 △2件 穂別地区 2件 2件 -----

計 画	実 績
(3) 会員が逝去された場合レタックスにより弔慰文を届ける。	区 分 26年度 比較 件 数 94件 104件 △10件
5. 福祉団体助成事業	民生児童委員協議会 76,000円助成 遺族会 173,000円助成 穂別自治会婦人部連絡協議会 23,000円助成
(1) 民生児童委員協議会・遺族会への活動費の助成と支援を行う。 (2) 自治会婦人部連絡協議会への活動費の助成を行う。	老連主催：ふれあいスポーツ大会 ・7月19日(金) 町民体育館 336名参加 高齢者スポーツ大会 ・10月3日(金) 穂別スポーツセンター 120名参加 ・パークゴルフ大会 1回支援 9月25日 ・ゲートボール交流会 1回支援 8月7日
6. 高齢者福祉活動事業	区 分 26年度 25年度 比較 鶴川地区 656名 383名 273名 穂別地区 290名 238名 52名 合計 946名 621名 325名
(1) 老人クラブ活動への支援 スポーツ大会、ボランティア活動を通じて社会参加をする等、健康の増進とふれあいの機会を拡充するとともに、生きがいをもって生活できるよう支援する。 (2) いきいきふれあいサロンの推進 65歳以上でディサービスに通っていない、外出の機会の少なくなった高齢者を対象に、毎月ないし隔月に軽い体操やレクリエーション、そして昼食と共にしながら憩い場、孤独感の解消、心身の健康維持増進等交流の場づくり事業として実施する。町の「あった〇事業」の対象事業として支援する。 (3) 男の料理教室の推進 60歳以上の男性を対象に料理の基礎技術を習得し、日常生活において栄養バランスの良い食事を心がけることにより、生活環境の改善、増進を図り、健康、福祉に繋げる。 (4) 地区敬老会などへの祝い品の贈呈 地区敬老会や施設の敬老会に参加し、長寿を祝い祝い品の贈呈をする。	区 分 26年度 25年度 比較 鶴川地区 9名 8名 1名 穂別地区 4名 未実施 ——
7. 障がい者福祉活動事業	区 分 26年度 25年度 鶴川地区 1件 1件 穂別地区 12件 12件 身障者福祉協会むかわ支部 276,000円助成 第44回胆振管内身体障害者スポーツ大会開催地として、支援した。
(1) 身障者福祉協会むかわ支部に、活動費を助成する。 胆振管内身体障害者スポーツ大会開催地として、実行委員会を組織し、支援する。	子供会育成連絡協議会 76,000円助成 児童生徒健全育成事業（親子バス遠足） ・平成26年8月10日(日) ・旭山動物園 ・16世帯38名参加 つくしの会 83,000円助成
8. 児童・青少年福祉活動事業	区 分 26年度 25年度 増減 小学校 5件 50,000 4件 40,000 1件増 中学校 4件 40,000 2件 20,000 2件増 計 9件 90,000 6件 60,000 3件増
(1) 子供会連絡協議会に、活動費を助成し支援する。 (2) 児童生徒健全育成事業（親子バス遠足） ひとり親・障がい児のいる世帯等の青少年が、集団生活の中で仲間に對して思いやりのある心を育て、交流及び研修を深めることを目的とする。	
9. 母子・父子福祉活動事業	
(1) つくしの会（母子会）に、活動費を助成し支援する。 (2) 低所得世帯のひとり親家庭児童・生徒修学旅行支度金助成事業 生活に困っているひとり親家庭の児童・生徒に対して、修学旅行支度金を助成する。	

計 画	実 績			
(3) 低所得世帯のひとり親家庭児童・生徒入学・卒業支度金助成事業 生活に困っているひとり親家庭の児童・生徒に対して、小学校入学時に就学支度金の助成と希望者にランドセル（赤又は水色限定）を贈呈する。中学校卒業時に進学・就職支度金を助成する。	区 分	26 年度	25 年度	増減
	小学校	2 件 20,000	5 件 50,000	3 件減
	中学校	3 件 30,000	2 件 20,000	1 件増
	計	5 件 50,000	7 件 70,000	2 件減
	ランドセル贈呈	1 件	1 件	-----
IV. 在宅福祉サービス事業				
1. 受託事業				
(1) 外出支援サービス事業 公共交通機関を使用できない高齢者等に、町内の病院や入浴等送迎サービスを実施する。	区 分	26 年度	25 年度	比較
	外出支援	延 3,758 回	延 2,986 回	772 回
	入浴送迎	延 467 回	延 505 回	△38 回
	路線廃止	延 261 回	延 243 回	18 回
	合計	延 4,486 回	延 3,734 回	752 回
2. 生活支援事業				
(1) 高齢者等生活支援事業 制度の狭間にある多様な福祉ニーズに弾力的に対応するため、社協の独自事業として次の事業を実施する。	区 分	26 年度	25 年度	比較
	鵠川地区	3,718 食	3,863 食	△145
	穂別地区	393 食	19 食	374
	合計	4,111 食	3,882 食	229
ア. 有料生活支援事業 高齢者等に対する日常の家事及び身辺介助、外出支援、介護支援等に関する生活支援事業	実績なし			
イ. おでかけ支援事業 在宅の独居及び老夫婦等で、とじこもりがちな高齢者等に対し、お楽しみ行事、買い物、交流会、ドライブ、温泉入浴等へのおでかけを支援する事業	町外おでかけ 各地区 2 回実施			
	区 分	26 年度	25 年度	比較
	鵠川地区	68 名	56 名	12 名
	穂別地区	49 名	49 名	0 名
	合計	117 名	105 名	12 名
ウ. 独居老人等窓ビニール張り事業 老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する事業	区 分	26 年度	25 年度	比較
	鵠川地区	7 件	9 件	△2 件
	穂別地区	12 件	13 件	△1 件
	合計	19 件	22 件	△3 件
エ. 災害見舞金の支給事業 火災、風水害等により、家屋等が使用に耐えない程に焼失、流失、崩壊した町民に、見舞金を支給する。	1 件			

計 画	実 績												
<p>オ. その他の生活援助事業</p> <p>低所得高齢者等が、著しく低下した生活をしいられ、又は老朽住宅居住者で、極めて不便をきたしており、応急措置によって生活の向上が期待できる事業（民生児童委員の上申が必要）</p>	実績なし												
<p>カ. 寝具洗濯サービス事業</p> <p>寝具類の衛生管理が困難な世帯で、65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者のうち介護保険の要介護及び要支援のもの及び重度障がい者の方を対象とする。</p>	<table> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>26年度</th><th>25年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>1件</td><td>5件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>0件</td><td>0件</td></tr> <tr> <td>計</td><td>1件</td><td>5件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	26年度	25年度	鶴川地区	1件	5件	穂別地区	0件	0件	計	1件	5件
区 分	26年度	25年度											
鶴川地区	1件	5件											
穂別地区	0件	0件											
計	1件	5件											
(2) 日常生活自立支援事業の推進	<p>日常生活自立支援契約件数 3件</p> <p>相談件数 3件</p> <p>指揮監督者・生活支援専門員（職員兼務）</p> <p>生活支援専門員：本所1名・支所1名配置</p> <p>生活支援員：登録4名</p>												
(3) 長寿祝金の贈呈事業	<table> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>26年度</th><th>25年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>1件</td><td>2件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>0件</td><td>0件</td></tr> <tr> <td>計</td><td>1件</td><td>2件</td></tr> </tbody> </table> <p>26年度 25年度</p> <p>歳末見舞い 18件 26名 31万円 18件 26名 31万円</p> <p>おせち料理 25件 32食 70,400 29件 36食 79,200</p>	区 分	26年度	25年度	鶴川地区	1件	2件	穂別地区	0件	0件	計	1件	2件
区 分	26年度	25年度											
鶴川地区	1件	2件											
穂別地区	0件	0件											
計	1件	2件											
(4) 歳末たすけあい配分事業													
① 歳末見舞金（品）を支給（贈呈）する。													
② おせち料理を配食する。													
③ 地域福祉サービス事業													
ア. 独居高齢者世帯等ビニール張り（再掲）													
老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する。	19件（再掲）												

計 画	実 績								
<p>イ. 家事援助サービス利用券配付事業</p> <p>自力で家事を行うことが困難な高齢者等に「家事援助サービス利用券」を配付して、家事援助を行う。</p>	<p style="text-align: right;">26年度 25年度 比較</p> <table> <tr> <td>対象自治会</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>対象世帯数</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>△1</td> </tr> </table>	対象自治会	5	6	△1	対象世帯数	8	9	△1
対象自治会	5	6	△1						
対象世帯数	8	9	△1						

V. ボランティア活動事業

1. ボランティアセンターの運営

(1) コーディネーターの配置

ボランティアセンター活動を推進するため、ボランティアコーディネーターを配置し、地域住民や福祉関係機関などの課題把握を図り、ボランティア活動の実践情報や個人における活動希望の情報を集約し、適切なコーディネートを図る。

本所1名、支所1名配置

(2) ボランティア活動相談・助言

ボランティア活動の相談・助言に努める。

18件

(3) ボランティア提供者の登録

趣味や特技をもっている方の登録及び活用を図り、利用者の希望に応えられるよう斡旋・調整の機能充実に努める。

区分	26年度	25年度	比較
団体	14 2,112名	14 2,178名	△66名
個人	69名	66名	3名
計	14 2,181名	14 2,244名	△63名

サロン事業等で活用できるDVDなどを整備し、貸出しの情報提供に努めた。

(4) ボランティア情報資料運営事業

図書・資料、ビデオ・DVDの閲覧貸出を実施する。

2. ボランティア活動事業の推進

(1) ボランティア団体の育成・連携

ボランティア団体活動の推進を図るため、一部経費の助成をする。

ボランティアさつき会	21,000円助成
ボランティア柏葉会	46,000円助成
ボランティア連絡協議会	115,000円助成

計 画	実 績
(2) ボランティア養成研修及び活動研修会の実施 ボランティア養成研修により、各種ボランティア事業への参加、実践者を育て、学童等のボランティア活動を町民に報告し活動の幅を広げる研修会を実施する。	養成研修 平成26年7月15日(火) ・穂別町民センター 参加者 26名 ・「心の拠りどころになるためには・・・」川本俊憲氏 活動研修会 平成26年11月4日(火) ・四季の館研修室 参加者 28名 ・報告会(穂別中、鵡川高校) ・「心の声に耳を傾けよう」川本俊憲氏
(3) ボランティア交流体験学習の実施 地域社会には、子供、お年寄り、心身に障がいを持つ様々な人が生活している。福祉施設等の体験学習を通して、生きることの尊さや支え合うことの大切さを学ぶ場として、中高生を対象に夏休み期間中に開催する。	企画準備するも中高生の応募なく中止。 各学校と連携を図り周知方法及び生徒の状況等把握し、新たな企画を模索する。
(4) ボランティアアドバイザーなどの実践活動の実施 (なかよし広場) 「ボランティアアドバイザー研修」及び「ボランティア養成研修」を終え、実際に実践できる場を提供し、今後のボランティア活動の一層の振興を図るため、鵡川地区は町内の拠点施設を利用し6地区で、穂別地区は4地区でなかよし広場を実施する。 町の「あった〇事業」の対象事業として支援する。	区分 26年度 25年度 比較 鵡川地区 開催場所 6箇所 6箇所 —— 参加者数 203名 186名 17名 穂別地区 開催場所 2箇所 3箇所 △1箇所 参加者数 35名 75名 △40名
(5) ボランティア研修・交流会事業への参加 各種ボランティア研修会等に参加し、ボランティア活動者などの情報交換による活動推進、向上に努める。	平成26年度ボランティアばんざい in 胆振 平成26年10月 8日(水) ・豊浦町地域交流センター「とわにー」 ・参加者21名
(6) ボランティア実践者の保険加入促進 活動中の事故に備え、実践者の保険加入を促進する。	26年度 25年度 比較 加入数 286名 256名 30名
(7) 学童・生徒ボランティア活動普及指定校に、活動費を助成する。 町社協指定校2校 鵡川中学校 (平成26~27年度) 穂別高校 (平成26~27年度)	50,000円助成 50,000円助成

計 画	実 績
(8) リサイクル活動事業（収集ボランティア）の推進 リソース・古切手、書き損じハガキ、使用済みテ レホンカード回収等のリサイクル活動を奨励する。	プルタブ、古切手等のリサイクル活動を推進 した。 主な預託物品 26年度 25年度 プルタブ 98件 348.775kg 104件 347.954kg 古切手 70件 29,513枚 66件 51,759枚 ハガキ 10件 128枚 14件 202枚 カード 16件 1,483枚 14件 735枚
VI. 生活福祉資金・たすけあい金庫貸付事業	前年度からの継続貸付 6件
(1) 町内に在住する生活困窮者などに対し、その世帯 の援護、自立更正、療養、住宅等の福祉資金の貸 付事業を行う。(道社協が実施主体、市町村社協が 窓口)	なし
(2) 失業や減収で生活が困窮し、日常生活の維持が困難 となっている低所得世帯の生活支援、住居確保、生 活立て直しなどの資金として、総合支援資金の貸付 事業を行う。(道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	前年度の継続貸付 3件
(2) 高等学校、大学等へ入学又は、就学する低所得世 帯に対して教育支援資金の貸付事業を行う。 (道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	実績なし
(4) 住宅用資産を有するものの、現金収入が少なく生計 の維持が困難である高齢者に対して、不動産担保型 生活資金の貸付事業を行う。 (道社協が実施主体、市町村が窓口)	26年度 25年度 比較 前年度からの継続貸付 6件 12件 △6件 本年度の新規貸付 4件 7件 △3件 償還が完了した貸付 7件 13件 △6件 次年度への継続貸付 3件 6件 △3件
VII. 心配ごと相談事業	隨時相談を受け、解決に努めた。 平成26年10月20日実施の一日合同行政相 談日に心配ごと相談員として参加。
心配ごと相談所を設置し、または民生児童委員の協 力により、住民の日常生活上のいろいろな相談に気 安く応じ、親身になって適切な助言を行い、あるいは は解決に努める。また、行政からの要請を受け「行 政相談週間」に心配ごと相談員として職員の派遣を 行う。	